

# ハッ場ダム周辺地域における環境影響に係る検討業務

## 報告書

平成 25 年 3 月

財団法人 ダム水源地環境整備センター

---

## 第1章 業務概要

### 1.1 業務の目的

本業務は、ハッ場ダム事業を実施する上で環境に及ぼす影響を把握し、環境影響評価法に準じて、最新のデータや施工計画を踏まえた環境影響検討を行うとともに、学識者による委員会の意見を踏まえた上で環境影響検討の評価を行い、既存の環境影響検討資料の更新を行い、ハッ場ダムの環境保全への取り組みをとりまとめることを目的とした。

### 1.2 業務の方針

ハッ場ダム建設事業の環境への影響に関しては、環境影響検討資料（「ハッ場ダム環境保全への取り組み（案）」（以下、「環境レポート」とする））としてとりまとめられている。

本業務は、「ハッ場ダム事業を実施した場合の環境に及ぼす影響について評価し、既存の検討資料の更新を行う」ことを目的としており、本業務の実施にあたっては、本ダム事業の特性を踏まえ、当財団で実施した環境影響評価の事例等を踏まえ、検討内容の妥当性と客観性を確保し、工程管理、情報管理を厳格に行い、以下に示す業務内容の検討を行った。

### 1.3 業務の内容

業務名：ハッ場ダム周辺地域における環境影響に係る検討業務

工期：平成24年4月21日～平成25年3月29日

契約額：¥32,655,000（税込）

#### 1.3.1 計画準備

既存の検討資料を踏まえ、業務の目的及び内容を十分に把握し、業務計画書を作成し、調査職員に提出した。

#### 1.3.2 資料収集整理

既往検討資料の更新に際して、文献や資料等の収集整理を実施した。

#### 1.3.3 環境影響検討資料の更新

発注者より貸与された環境影響検討資料（環境レポート（案））について、発注者から貸与された調査検討結果及び本業務で実施する検討結果をもとに更新した。更新した項目は環境レポート（案）の「第2章ハッ場ダム建設事業の目的及び内容」のうちこれまでの環境保全への取り組み、「第5章環境保全への取り組み」のうち植物、生態系上位性、生態系典型性（河川域）とした。

---

### 1.3.4 環境調査資料等のとりまとめ

発注者より貸与される既往環境調査資料等について、本業務で実施する影響検討に用いた基礎データを追加し、環境影響検討資料のバックデータとして更新整理した。

### 1.3.5 生態系に関する検討

#### (1) 生態系上位性

生態系上位性(クマタカ)に関する最新の調査結果を踏まえ、予測及び評価検討を実施した。

#### (2) 生態系典型性(河川域)

既往資料の堆砂検討及び流量データを踏まえ、既往の検討結果を踏まえて下流物理環境の影響検討を実施するとともに、最新の利水計算結果等に基づく吾妻川の河床変動計算及び冠水頻度計算を実施し、生態系典型性(河川域)に関して、予測及び評価検討を実施した。

### 1.3.6 人と自然との触れ合いの活動の場に関する検討

名勝「吾妻峡」に関するダム建設前とダム運用後の河川流況の変化による渓谷の景観影響の予測手法を検討し、予測及び評価検討を実施した。ここでの景観影響とは、人と自然との触れ合いの活動の場における予測項目である近傍の風景の変化として検討する内容とした。ダム建設前とダム運用後の河川流況の変化に伴い、吾妻峡周辺の河床状況、冠水頻度が変化することによる近傍の風景の変化への影響を定性的に検討した。

### 1.3.7 植物に関する検討

植物の既往調査結果について、「群馬県の絶滅のおそれのある野生生物(群馬県レッドデータブック)植物編 2012年改訂版(平成24年4月)」及び「環境省記者発表資料第4次レッドリストの公表について(平成24年8月)」を参考とし、以下の項目の検討を実施した。

- (1) 該当する種のカテゴリーの確認、整理
- (2) 新たに選定された重要な種の既往調査結果(確認位置、確認年度等)、生態情報の収集整理
- (3) 新たに選定された重要な種の影響予測、評価及び保全対策の検討

### 1.3.8 これまでの環境保全への取り組みに関する検討

八ッ場ダム事業において、これまでに取り組まれてきた環境保全への取り組みについて、発注者より貸与される資料を基に、その実施状況等について整理した。

### 1.3.9 関係機関協議資料作成

本業務の成果をとりまとめるにあたって、必要となる関係機関の協議資料を作成した。資料は水環境1回、下流物理環境2回、環境影響検討資料の更新3回分を作成した。

### 1.3.10 報告書作成

本業務の成果として、上記結果をとりまとめて報告書を作成した。